

平成28年度  
ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI  
(研究成果の社会還元・普及事業)  
実施報告書

HT28196 海外の学術調査を通じて、みんなに知ってもらいたいこと



開催日：平成28年6月26日(日)

実施機関：愛知学院大学

(実施場所) (愛知学院大学歯学部附属病院)

実施代表者：夏目 長門

(所属・職名) (歯学部・教授)

受講生：小学生6名・中学生3名・高校生3名

関連URL： 計12名

【実施内容】

■受講生にわかりやすく研究成果を伝えるために、また受講生に自ら活発な活動をさせるためにプログラムを留意、工夫した点

- ・講義の説明では実際に学術調査で撮影した写真を多用したパワーポイントのスライドを作成し、視覚的に興味を持ってもらうよう工夫した。
- ・難しい専門用語をひとつひとつ詳しく説明し、理解を容易にした。
- ・実習では、4つの小グループに受講生を分け、教員や大学院生を複数名配置し、質問に答えながら受講生全員が体験できるよう配慮した。
- ・愛知学院に留学しているモンゴル人留学生にオブザーバー参加をしてもらい、モンゴル人を身近に感じてもらった。
- ・実習「手術器具に触ってみよう」では、小学生の参加者には、教員や大学院生を重点的に配置することにより、危険な道具には触れることがないよう配慮した。

■当日のスケジュール

- 12:30～13:00 【受付】(愛知学院大学歯学部附属病院7階 講義室1)
- 13:00～13:10 【開講式】挨拶、オリエンテーション、科研費の説明
- 13:10～13:50 【講義】モンゴルでの医療援助
- 13:50～14:00 【休憩】
- 14:00～14:40 【講義】病気について(口唇口蓋裂について)
- 14:40～15:00 【クッキータイム】
- 15:00～15:20 【実習】モンゴル人の遺伝子解析を行っている研究室の見学
- 15:25～16:30 【実習】手術器具に触ってみよう
- 16:30～17:00 【修了式】感想、アンケート記入、未来博士号授与
- 17:00 終了

■実施の様子



講義「海外での医療援助と学術調査」



講義「病気について知ろう」



モンゴル人留学生



研究室見学



実習「縫合してみよう」



実習「手術器具にさわってみよう」



実習「採血をしてみよう」



未来博士号授与

#### ■事務局との協力体制

- ・研究支援課と協力し、近隣の公立中学校・高校および私立中高一貫校を訪問し、本事業についてのPRを行った。
- ・入試広報課と協力し、プレスリリースやホームページ掲載などの広報を行った。

#### ■広報活動

- ・県内の中学校、高等学校 500 校に案内チラシを送付した。また、高校および私立中一貫校 16 校に研究支援課担当者が訪問し、プログラムの内容を紹介、周知を依頼した。
- ・プレスリリースおよび大学ホームページに掲載を行った。
- ・近隣のタウン誌に掲載を依頼し、「千種ホームニュース」に掲載いただいた。
- ・各新聞社に掲載を依頼し、中日新聞に掲載いただいた。

#### ■安全配慮

- ・実習の安全を確保するため、受講生 4 人に 1 人の割合で医療者を配置した。
- ・参加した受講生および実施協力者は傷害保険に加入した。

#### ■今後の発展性、課題

- ・受講生からは「貴重な体験ができた」「研究室を見ることができわくわくした。大学院生になって研究をしてみたい」「説明がわかりやすく、科学に興味がわいて楽しかった」「高校生になったら、外国に行ってボランティアをしたい」という感想が寄せられ、研究や学術調査に興味を持ってもらえた。また、保護者の方からも、「海外でのボランティア活動を知ることができ、子供が将来社会貢献をすることを率先して行動できるような意識を持ってたらうれしく思う」「子供にはもっと興味の幅を広げてほしい」などの評価を頂いた。
- ・30名の募集であったが、応募者は14名(当日キャンセル2名)であった。近隣校の試験日と重なったようであるので、日程の設定には調整が必要である。
- ・人数が少なかった分、受講生に対してはひとりひとりにきめ細やかなケアを行うことができ、受講生の満足度が高かった。

#### 【実施分担者】

- ・古川博雄(心身科学部・教授)
- ・新美照幸(歯学部・准教授)
- ・南克浩(歯学部・講師)
- ・井村英人(歯学部・講師)
- ・鈴木 聡(歯学部・非常勤講師)

#### 【実施協力者】   6  名

【事務担当者】 日比茂久(研究支援課・課長)・刑部理恵(歯学部・口腔先天異常学研究室)